

平成 29 年度

社会福祉法人 総社市社会福祉協議会

事 業 報 告



☆基本方針

すべての住民が自分の住み慣れた地域で  
自分らしく生き生きと豊かに暮らせる  
ふれあい、助けあい、支えあいのある  
住民主体の福祉コミュニティの実現

我が国は、少子高齢化の問題の上に、非正規雇用や生活困窮の問題が重層的に加わり、度重なる自然災害の発生により、生活不安や地域生活の困難さを拡大しています。

こうした中、総社市は平成 27 年 12 月に策定された「第 2 次総社市総合計画」において、「全国屈指の福祉文化先駆都市」を掲げ、「全国屈指福祉会議」を立上げ、「福祉王国プラン 2018」を策定し、厳しい財政状況でありながら、①医療体制整備事業、②障がい者支援事業、③高齢者支援事業、④ひきこもり支援事業、⑤待機児ゼロ事業、⑥発達障がい者支援事業など先駆的な福祉施策に積極的に取り組んでいます。

本会は、社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人としての使命を果たすべく組織体制の改善を行いました。また、総社市と協働して地域住民の安全を守り、豊かな暮らしを実現するために、「住民主体の地域福祉活動の推進」を担う中核的組織として、その使命と役割を十分に果たすよう広範囲の事業を推進しました。

本会はこうした状況の中、上記の基本方針に基づき、次の 5 つの基本活動を基盤に据え 住民主体の福祉コミュニティの実現（地域包括ケアシステムの構築） のため、諸事業を推進して参りました。

1. 住民主体の小地域福祉活動の推進
2. 当事者・当事者組織の支援活動の推進
3. ボランティア活動・市民活動（NPO）への支援・連携の推進
4. 相談・生活支援活動の推進
5. 介護予防事業、介護保険関連事業の充実・強化

さらに、地域福祉の推進のために、以下の 6 つの事業を重点に取り組みました。

☆重点事業

- (1) 地区社会福祉協議会（地区社協）活動の推進
- (2) 福祉委員活動の推進
- (3) ふれあいサロン活動の推進
- (4) ボランティアセンター事業の推進
- (5) ひきこもり支援の推進
- (6) 生活支援事業の実施

そして、このような事業を推進することにより、誰もが住み慣れた地域で安心して豊かに暮らせる ノーマライゼーション の実現をめざし、「総社市に住んでよかった」と市民から声が出るような地域福祉を推進しました。

## 平成29年度に実施した主な事業

### 1. 法人運営事業

#### (1) 理事会・評議員会・幹部会・監査会の開催

- ① 理事会 年5回（4/1・5/31・6/19・10/30・3/9）開催
- ② 評議員会 年2回（6/19・3/23）開催
- ③ 監査会 年1回（5/25）開催
- ④ 評議員選任・解任委員会 年1回（5/31）開催

#### (2) 役員及び職員の研修

##### ① 役員研修

役員のみを対象とした集合研修や移動研修などは実施できていないが、市や社協が実施する講演会等へ積極的に参加いただいた。

##### ② 職員研修

担当する事業に応じた外部の専門研修を受講するとともに、総社市をはじめとする関連機関や本会の実施する講演会等に積極的に参加した。

No	日程	テーマ	参加人数
1	5/18(木)	事務処理、ファイリングについて	35人
2	6/22(木)	メンタルヘルスの話、ストレスチェックについて	35人
3	7/26(水)	高齢者の個別性を重視した生活環境を支援する取り組みについて	29人
4	8/31(木)	セクシャル・ハラスメント、パワーハラスメントについて	27人
5	9/27(水)	身近な防災・減災対策について	29人
6	10/19(木)	『個人情報保護法について	35人
7	11/27(木)	気軽にスポーツを楽しもう ～カップ編～	28人
8	12/20(水)	人権について 参加・体験型学習を通して人権問題について考える	29人
9	1/25(木)	災害ボランティアセンターについて	25人
10	2/28(水)	社会福祉法人社会貢献活動 ～ふくしネットそうじゃの取り組みについて～	23人

### (3) 社会福祉関係機関、団体との連携

団体の活動費を助成するとともに活動を支援した。

団体名	合計
総社地区保護司会	139,000円
遺族連合会	272,000円
総社地区更生保護女性会	67,000円
原爆被爆者総社友の会	50,000円
身体障がい者福祉協会	443,000円
手をつなぐ親の会	113,000円
山手セロリ青葉会（手をつなぐ親の会）	38,000円
ひとり暮らしの会	164,000円
介護者の会	158,000円
あゆみ家族の会(精神障害者家族の会)	37,000円
市保育協議会	28,000円
母子寡婦福祉連合会	193,000円
民生委員児童委員協議会	107,000円
ボランティア連絡協議会	250,000円
作業所利用同好会（清音）	31,000円
計	2,090,000円

### (4) 社会福祉協議会会員加入促進と強化

厳しい社会情勢の中、自主財源確保のため、随時会費説明会を行い、各地区社協の協力を得て会員の増強に努めた。

- ・会費総額 14,532,500円（昨年度から52,700円減）
- ・加入率 57.8%

地区名	H29			H28	
	件数	金額	加入率	件数	金額
総社	4,572件	3,712,100円	53.9%	4,851件	3,744,200円
常盤	2,057件	1,764,300円	35.3%	1,900件	1,729,000円
池田	383件	382,000円	71.6%	380件	379,000円
清音	1,636件	1,666,500円	74.4%	1,624件	1,657,500円
三須	854件	870,500円	75.9%	851件	869,000円
服部	591件	640,000円	70.2%	572件	614,500円
阿曾	722件	726,000円	69.5%	731件	735,500円
山手	972件	973,000円	57.6%	959件	965,000円
秦	573件	609,000円	79.8%	583件	620,000円
神在	524件	561,000円	75.3%	535件	573,000円
久代	778件	650,100円	61.0%	775件	649,000円
山田	212件	213,000円	79.7%	213件	214,000円
新本	421件	429,000円	74.9%	432件	439,500円
昭和	1,019件	1,030,000円	74.4%	1,030件	1,043,000円
事務局	92件	306,000円		188件	353,000円
計	15,406件	14,532,500円	57.8%	15,624件	14,585,200円

## (5) 社会福祉協議会基盤強化に関する調査、研究

- ① 第24回岡山県保健福祉学会で研究発表（1月22日）
  - ・社会福祉法人と連携した地域福祉活動の実践  
～地域における公益的な取り組みから～
  - ・総社市における学習等支援教室「ワンステップ」の成果と課題  
～大学との連携に着目して～
  - ・総社市における「ひきこもり支援」の取り組みについて  
～総社市ひきこもり支援センター“ワンタッチ”の設置～

## (6) 広報紙の発行、ホームページの作成と更新

- ① 「みんなのちいきふくし」の発行
  - ・年4回（1回あたり25,700部）発行
  - 【50号】（6月）
    - 特集：ひきこもり支援センター「ワンタッチ」開設
    - 地域ニュースfrom地区社協（秦・神在・山田）
    - 法律ミニ講座の開催の開催・フードドライブ実施報告・にこにこサポート事業・平成29年度事業計画・予算 など
  - 【51号】（9月）
    - 特集：事業報告・事業活動収支決算書
    - 地域ニュースfrom地区社協（常盤・阿曾・昭和）
    - 夏のボランティア体験・赤い羽根共同募金・ひきこもり支援センター開設記念フォーラム・ふくしネットそうじゃ設立・居住支援講演会 など
  - 【52号】（12月）
    - 特集：ひきこもりサポーター養成講座の開催の開催
    - 地域ニュースfrom地区社協（総社・池田・服部）
    - みんなで学ぼう！発達障がい開催について・地域の支え合いフォーラム2017 In総社の開催・平成29年度の被表彰者（福祉部門）・市民後見人選任について・ハートフルそうじゃ など
  - 【53号】（3月）
    - 特集：ひきこもりの居場所オープン
    - 地域ニュースfrom地区社協（三須・新本・山手）
    - 地域権利擁護ネットワークフォーラム・福祉学習について・やすらぎの家管理ボランティア募集について・ボランティア養成講座開催について
- ② ホームページの更新
  - ・明るく見やすいホームページに更新
  - ・ホームページアドレス <http://www.sojasyakyo.or.jp/>

## (7) 民生委員互助共励事業の実施

- ① 退任慰労 3件
- ② 一般傷病 4件

## (8) 職員体制の状況（3月31日現在）

### ① 係体制

・事務局長	1人（正規1）
・事務局次長	1人（正規1）
・総務係	8人（正規4・嘱託1・臨時3）
・地域福祉係	7人（正規6・臨時1）
・障がい支援係	9人（正規5・臨時4）
・権利擁護係	7人（正規4・嘱託1・臨時2）
・相談支援係	4人（正規3・嘱託1）
・在宅福祉係	20人（正規14・嘱託2・臨時4）
職員合計	57人（正規38・嘱託5・臨時14）

### ② 資格取得状況

#### （国家資格）

・社会福祉士	18人
・精神保健福祉士	7人
・介護福祉士	18人
・保健師	2人
・看護師	3人

#### （認定資格）

・臨床心理士	1人
・介護支援専門員	20人
・相談支援専門員	17人

※ 重複あり延数

### ③ 年齢構成（正規職員のみ）

・20歳代	5人
・30歳代	10人
・40歳代	13人
・50歳代	10人

## 2. 地域福祉活動計画

### ① 地域福祉活動計画評価委員会の開催

開催できていない

### ② 基本計画、行動計画の進捗状況を評価

職員が行動計画の進捗状況について評価した

### 3. 地域福祉活動事業

#### (1) 住民主体の地区社協活動・小地区社協活動の推進

- ① 地区社協会長会議の開催 年4回開催
- ・第1回地区社協会長会議（4/19）  
報告事項（平成29年度敬老会行事について・社協会費配分について、地区給食サービス補助金について、寄付金配分について共同募金配分について）  
協議事項（高校生社会貢献活動について）  
各係からの情報提供（総務係：総社市社会福祉協議会パンフレットについて・地域福祉係：にこにこサポート事業について・障がい支援係：理解啓発パンフレットについて・権利擁護係：こども食堂開設に向けた取り組みについて・相談支援係：ひきこもり支援センターについて・在宅福祉係：在宅福祉の取り組みについて）
  - ・第2回地区社協会長会議（7/24）  
報告事項（平成28年度総社市社会福祉協議会事業報告について・平成28度各地区社協の取組みについて・平成29年度赤い羽根福祉でまちづくり助成事業について・平成29年度社協会費について・平成29年度ふれあいサロン活動について）  
協議事項（平成29年度赤い羽根共同募金事業について）  
相談支援係からの報告（60歳からの人生設計所・ひきこもり支援センター「ワンタッチ」）
  - ・第3回地区社協会長会議（10/27）  
報告事項（総社市社会福祉協議会事務分掌について・こども食堂について・赤い羽根共同募金ポスター作品コンクールについて）  
協議事項（福祉のまちづくり座談会について・赤い羽根福祉でまちづくり助成事業について）
  - ・第4回地区社協会長会議（3/19）  
協議事項（平成30年度赤い羽根福祉でまちづくり助成事業について・平成30年度ふくしのまちづくり座談会（案）の開催について）  
報告事項（平成30年度総社市社会福祉協議会事業計画（案）について・平成30年度敬老会事業における名簿の配布について）

② 「赤い羽根 福祉でまちづくり助成事業」の実施

共同募金会から配分された「赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業」助成金（90万円）を財源として、地区社協で次の事業を行った。

地区	事業名	事業概要
総社	放課後児童クラブを必要とする児童の成長を支援する活動	地区内に3か所ある学童クラブ（登録人数：216名）への活動支援と、利用児童とふれあう機会をもつことで、お互いに顔の見える関係を構築する。
常盤	常盤地区防災訓練	救急法、AED使用、防災講話、炊き出し訓練を実施し、防災の意識向上・啓発を図る。
池田	80歳以上高齢者世帯給食サービス	対象者数：153名 従来の給食の日にあわせて調理し、ニーズのある「高齢者のみ世帯」に食の提供支援をする。
清音	福祉作文・ポスターコンクール	対象：清音小学校1～6年生（約125名）、きよね認定こども園 日程：7～8月応募期間と審査、10月表彰、10～12月展示

三須	第20回ふれあい文化まつり（地域住民ふれあいコーナー）	対象：三須地区内住民 人数：約 300 名 内容：模擬店、グランドゴルフ等により参加を促し、ふれあいコーナーを開設することにより、地域の交流充実を図る。
服部	地区社協ジャンパー（ユニフォーム）の作成	対象：服部地区社協役員 30 名分
阿曾	地区社協活動について地域への啓蒙・情宣事業Ⅱ	「赤い羽根」「地区社協」をプリントした T シャツ作成。 また、昨年度作成したジャンパーの不足分を作成したい。
山手	地区社協ジャンパー（ユニフォーム）の作成	社協行事（給食サービスやちびっこまつり、慶應貝やなかよしウォーキングなど、あらゆる場面）で着用し、地域住民へ PR したい。
秦	地域の集いの場づくり	①世代交流ビンゴゲーム大会（約 250 名）、地区民運動会終了後を予定 ②高齢者グランドゴルフ大会（約 50 名）
神在	神在地区交流の場づくり活動“秋は集まろう会”	地域住民を対象にした「ふれあい文化まつり」において、地域との連携を目指す活動の一環として「地域住民ふれあいコーナー」を設け、内容を充実したものにしていく。 模擬店やグランドゴルフなどを通じて、相互の交流を図る。
久代	久代地区 3 世代ふれあいまつり PARTⅡ	対象：久代地区在住・在勤・出身者及びその縁者、友人等 人数：約 150 名 内容：栄養委員、愛育委員などと連携し、子どもから高齢者まで幅広く参加できる食育・健康増進イベント
山田	古民家（菊池邸）再生・居場所提供	古民家を再生し、地区民の居場所として提供する。（NPO 法人「古民家を活用する会」と協働） 同会場を山田サロンとして定期的に利用する。（対象者約 150 名）
新本	西の吉備路探訪健康ウォーキング新本	対象：新本地区住民 人数：約 100 名
昭和	昭和夢番地「夢のいち」	対象：富山地区住民 人数：約 100～130 名 内容：地域の特産品やサロン等で作成した手作り作品を展示・安価で販売し、相互の交流や子どもから高齢者まで、みんなが集えるような機会を提供する。

### ③ 小地域ケア会議との連携

21か所の小地域ケア会議に担当職員が参画し、地域課題の把握、解決への取り組みを行った。

### ④ 職員の地区担当制による推進（地区社協、民生委員・児童委員、福祉委員、ふれあいサロン、小地域ケア会議）

## (2) 民生委員・児童委員活動との連携

- ・地区民生委員児童委員協議会定例会への参加
- ・福祉委員との合同研修の実施

## (3) 福祉委員活動の推進

- ① 全町内会・自治会等に福祉委員の配置を推進  
582人（46世帯に1人の配置）

- ② 地区福祉委員会、市福祉委員協議会の活動支援

- ・福祉委員協議会

総会 年1回（6/16）開催

役員会 年3回（8/29・11/15・3/28）開催

視察研修会：井原市社会福祉協議会

日時：平成30年2月8日（木）8：50～15：00

場所：井原市県主公民館分室

内容：『井原市社協の赤羽カフェの取り組みについて』

『ホッと一息しませんか？カフェの実践について』

- ・地区福祉委員会

総会、地区福祉委員会、民生委員・児童委員との合同研修会の開催

小地域ケア会議や地区社協活動への参画 など

- ③ 研修会（民生委員合同・初任者等）の実施

### 【民生委員との合同研修】

地区	実施日	内 容
総社	11/14	講演『心の健康について～みんなが幸せに生きる地域づくり～』
池田	11/27	講演『宇治地区社協の取り組みについて』
常盤	3/22	講演『地域の見守り活動と個人情報』
清音	3/10	講演『在宅医療の現場と地域に求められること』
三須	2/7	視察『鞆の浦・さくらホーム』
山手	12/14	視察『浅口市社会福祉協議会』
服部	12/11	視察『笠岡市社会福祉協議会』
阿曾	11/30	視察『じ・ば・子のおうち』
秦	7/28	講演『知っておきたい地区社協について』
神在	10/21	視察『玉野市玉原地区たすけあい友の会・結いのさと愛家里』
久代	11/22	講演『子どもの貧困の実態と地域での取り組み』
山田	11/22	講演『子どもの貧困の実態と地域での取り組み』
新本	7/15	講演『食中毒予防について』
昭和	2/20	講演『地域における支え合い活動について』

【ブロック研修】

地区		参加者	開催日	内 容
中央部 ①	総社	105	9/11 (金)	講演：認知症サポーター養成講座 「今日からできること！認知症の正しい理解」 講師：中央部北地域包括支援センター職員 東部北地域包括支援センター職員 総社市 長寿介護課職員
	池田			
中央部 ②	常盤 清音	66	9/12 (土)	講演「地域の支え合い」 講師：ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏
東部	三須	82	1/23 (火)	講演「福祉委員に求められるものについて」 講師：新見公立短期大学 教授 山本 浩史 氏
	服部			
	阿曾			
	山手			
西部	秦	55	9/17 (日)	講演「支え合いの輪を広げよう！」 講師：総社市社会福祉協議会 福祉活動専門員 太田井 真 氏
	神在			
	久代			
	山田 新本			
北部	昭和	21	11/21 (火)	視察研修：「じ・ば・子のおうち」

④ 「福祉委員だより“ささえあい”」の発行

福祉委員へ福祉情報や福祉委員活動の実践等、情報提供を行うことで、福祉委員活動の周知や意識高揚を図り、今後の福祉委員活動に活かすことを目的に作成。

- ・第10号（6月）・第11号（11月）・第12号（3号）
- ・編集委員会の開催

(4) ふれあいサロン事業の推進

① ふれあいサロンの立ち上げ、運営支援

	設置数	新規設置数	延開催回数	延参加者数
高齢者	207か所	9か所	2,821回	36,994人
障がい者	3か所	0か所	37回	405人
子育て	9か所	1か所	125回	1,926人
合計	219か所	10か所	2,983回	39,325人

- ・ふれあいサロン備品の整備と貸出
- ・ふれあいサロンへの職員の訪問・取材・相談
- ・様々な分野の講師・指導者の派遣調整
- ・ふれあいサロンの情報提供（一覧、広報紙）

② ふれあいサロン研修会、交流会の開催

ふれあいサロン交流会の開催

- ・内容：貸出し備品を活用して今後の活動内容の充実に向けた体験
- ・市全体で4回開催
- 参加者数：210サロン 278人

- ③ ふれあいサロン活動助成金の交付
  - ・申請 219か所
  - ・助成 215か所（総額4,810,000円）

## (5) ボランティアセンター事業の実施

- ① ボランティア（グループ、個人）活動の支援
  - ・ボランティア登録（77グループ、個人3人）

- ② ボランティア活動のコーディネート
  - ・78件

- ③ ボランティアの養成及び活動の推進・支援

- ④ 「夏のボランティア体験事業」の実施
  - ・市内の中学生・高校生219人参加
  - ・20事業所で活動
  - ・事前・事後研修会の実施

- ⑤ ジュニアボランティア養成講座の開催

3年生以上の小学生を対象に、思いやりあふれる住みよい地域づくり、福祉の街づくりの推進力を育成し、それぞれが連携をとりながら、地域でボランティアとして何ができるかを考え、養成講座から実践活動へと身近な地域での自主的なボランティア活動へとつなげる。

- ・日程及び内容

第1回	7月25日（火）9：30～11：30 「まずは仲間づくりをしよう！ ～ふくしについて知る～」
第2回	8月1日（火）13：30～16：00 「ボランティア活動を考えよう！ ～地域の人と一緒に活動する～」
第3回	8月28日（月）13：30～15：30 「ボランティア活動を振り返って～これから自分たちにできること～」

- ・講師：川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科 講師 直島 克樹 氏
- ・市内小学生対象 16人参加

- ⑥ ボランティア連絡協議会の支援

- ・14団体、205人
- ・総会・交流集会・視察研修・役員会の実施

## (6) 災害ボランティアセンター事業

- ① 災害支援ネットワーク会議

- ・目的 災害時に、特に配慮が必要と想定される方をどのように把握し、支援につなげていくかを、市内の関係団体・機関と連携し、考えていくことを目指す。
- ・日時 2月28日（火）13：30～15：30
- ・対象 地区社会福祉協議会、ボランティア連絡協議会、外国人防災リーダー、地域包括支援センター、地域自立支援協議会、介護支援専門員協会総社支部

② 総社市防災訓練への参加

- ・日時 11月18日（土）
- ・会場 岡山県立大学
- ・赤十字奉仕団（服部地区社協）により炊き出し訓練を実施

(7) 福祉教育の推進

① 社会福祉学習支援事業の実施

- ・実施件数：小学校8件、中学校1件、地域団体1件

No	実施	内容
1	総社中央小学校	・導入の授業・高齢者疑似体験・白杖体験地域との交流 ・障がい者の暮らしについて・認知症サポーター養成講座
2	総社小学校	・導入の授業・盲導犬ユーザーによる授業 ・高齢者疑似体験・車いす体験・福祉学習発表会
3	清音小学校	・導入の授業・高齢者疑似体験・ふれあいサロンでの交流 ・デイサービスでの交流・「共に生きる」交流会
4	山手小学校	・導入の授業・盲導犬ユーザーによる授業 ・車いす、白杖体験・まとめ発表会
5	総社東小学校	・導入の授業・車いす、白杖体験、高齢者疑似体験 ・福祉学習発表会
6	秦小学校	・総社市総合福祉センター見学
7	新本小学校	・導入の授業・車いす、白杖体験 ・盲導犬ユーザーによる授業・高齢者疑似体験 ・ふれあいサロンでの交流・福祉学習発表会
8	昭和小学校	・導入の授業・車いす、白杖体験・福祉学習発表会 ・ボランティアグループ点訳の会による点字体験
9	総社中学校	・導入の授業・車いす、白杖体験 ・障がい者の暮らしについて
10	おひさま	・高齢者疑似体験・おしごと体験

② 平成29年度福祉教育セミナーの開催

目 的：「福祉」「教育」「地域」の三者が「福祉教育」の目的や意義を理解し、より良い福祉教育の実践を模索し、今後の福祉教育・地域福祉活動につなげる。

日 時：平成30年2月16日（金）14：00～16：00

対 象：小学校、中学校、高校、大学の教職員、福祉教育関係者、ボランティア、地区社協関係者など福祉教育に関心のある方

基調講演：「学ぼう！学校教育と福祉教育について」  
新見公立短期大学 教授 山本 浩史 氏

実践発表：新本小学校 教諭 小林 早織 氏  
総社中央小学校 教諭 坂本 信子 氏  
総社南高等学校 主幹教諭 大塚 敏明 氏

参加者：60人

③ 県立高校社会貢献活動との連携  
南高：延116人 総高：延34人

活動先		内容	学校	人数
総社	ふれあいサロン川崎	高齢者とのふれあい	南高	延25人
池田	三世代交流ふれあいウォーキング	ウォーキングの見守り、昼食配膳、片付け	南高	3人
	池田地区子育て交流会	小学生や幼稚園児などとのふれあい、見守り	南高	5人
清音	さんあいの家サロン	お飾りづくりの手伝い	南高	6人
神在	交流の場づくり“秋は集まろう会”	高齢者とのふれあい、受付、誘導、飲み物の配布	南高	10人 3人
久代	久代地区三世代ふれあいまつり	準備、児童、高齢とのふれあい、補助	南高 総高	9人 7人
新本	西の吉備路探訪 健康ウォーキング in 新本	ウォーキングの補助、高齢者、子どもの見守り	南高 総高	3人 3人
	手打ち蕎麦による年末慰問	そば打ち作業と配達	南高	6人
昭和	五つ星学園こども祭	受付、準備、会場運営 ワークショップの手伝い	南高 総高	5人 8人
	ふるさと探訪ウォーキング In下倉	子どもたちの見守り	南高 総高	9人 6人
	昭和地区ふれあい文化祭	準備、演芸の送り出し	南高 総高	3人 2人
	おひさま合宿	木工教室の補助	南高 総高	5人 5人
	高滝山登山	登山	南高	14人
その他	kids' Halloween Party in リブ（英PLAY）	おやつ配りの手伝い 子どもたちの誘導や補導	南高	13人

(8) 生活福祉資金等の貸付

① 生活福祉資金の貸付

相談件数145件（内貸付実施件数0件）

② 緊急援護資金の貸付

	H29	H28	H27	H26	H25	H24
相談件数	221件	48件	62件	56件 (下半期)	112件	—
貸付件数	32件	31件	51件	74件	58件	55件
償還率	81.3%	73.3%	86.3%	75.7%	72.4%	60.0%
うち生活保 護世帯	17件	13件	18件	24件	34件	24件
	53.1%	43.3%	35.3%	32.4%	58.6%	43.6%

## (9) 日常生活自立支援事業の実施

- ① 日常生活自立支援事業の実施
  - ・平成29年度 利用者数：14人
- ② 生活支援員による援助の実施
  - ・平成29年度 生活支援員数：9人

## (10) 法人後見事業の実施

- ① 法人後見事業の実施
  - ・受任件数 10件（後見3件、保佐6件、補助1件）
- ② 後見支援員による後見業務、研修事業の実施
  - ・支援員 14人（市民後見人登録者） 内 7人が支援を実施
  - ・市民後見人定例研修へ参加（隔月）

## (11) 生活支援サービスの検討

- ① 介護予防・生活支援サポーター養成講座の開催【担い手の養成】  
 「誰もが安心して豊かに暮らせる」ふれあい・助けあい・支えあいのある住民主体の福祉のまちづくりの実現に向けて、高齢者等の日常生活における「生活の困りごと」を支える応援団（生活支援サポーター）を養成し、お互いに支え合う活動を通じて、（ふ）普段の（く）暮らしの（し）幸せを創出することを目的に開催。

日 程		内 容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部（昭和）10/3</li> <li>・西部 12/12</li> <li>・東部 10/19</li> <li>・中央部 11/6</li> </ul>	(1) 開講式 (2) 講義 ①「超高齢社会を乗り切るために！」 ～介護保険制度の改正と総社市の取り組みについて～ ②「誰もが安心して暮らせる総社市をめざして！」～お互いさまの支え合い活動について考える～
	参加人数 54人	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部（昭和）10/11</li> <li>・西部 10/16</li> <li>・東部 10/26</li> <li>・中央部 11/13</li> </ul>	(1) 講義 「地域で取り組む介護予防！居場所を考える」 ～百歳体操・ふれあいサロン活動等から学ぶ
	参加人数 48人	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部（昭和）10/17</li> <li>・西部 10/19</li> <li>・東部 10/30</li> <li>・中央部 11/17</li> </ul>	(1) 講義・実技 ～他者との関わり～ ①「総社市生活支援にここをサポート事業について」 ～にここをサポートの活動から知る～ ②「コミュニケーションのコツを学ぼう」
	参加人数 46人	
4	【全地区共通】 11月24日（金） 10:00～12:00 総合福祉センター	(1) 講義・演習（ワークショップ） ①「地域住民の支え合い！ 今、地域に求められること！」 講師：美作大学 小坂田 稔 先生 ②「今！私たちにできることを考えよう！」 (2) 修了式
	参加人数 49人	

5	医療介護講座（5回）	※選択メニュー
	地域の支え合いフォーラム 12月9日（土）	
	地域医療講演会 3月12日（月）	

- ・受講者数：56人
- ・修了者数：51人（中央部11人・東部13人・西部4人・北部（昭和）23人）

#### ② 生活支援サポーター連絡会の開催

生活支援サポート事業の充実（仕組みづくり）をめざして、サポーター登録者相互の連携と協調を図ること、研修や情報交換を目的に定期的な連絡会を開催。

	日程	内容	参加
役員会	4月27日（木） 13:00～13:30	・総会に向けて	11人
総会	4月27日（木） 13:30～15:30	・にこにこサポーター活動とは ・H29事業計画（案）、予算（案）について	78人
第1回	10月24日（火） 14:00～16:00	・「にこにこサポーター活動の進捗状況について」 ・活動マニュアルの作成について	46人
第2回	10月27日（金） 10:00～12:00	・「にこにこサポーター活動の進捗状況について」 ・活動マニュアルの作成について	38人

#### ③ 生活支援「にこにこサポート事業」

平成29年4月から「総社市生活支援にこにこサポート事業」始動

- 担い手：「にこにこサポーター」（登録者数 120人）

※H29養成講座修了者から新規登録者数 28人

- 対象者：①要支援者（介護保険認定区分が要支援1・2の方）

②基本チェックリストにより判定し該当になった方

- 利用料金：①1時間まで 500円 ②30分まで 300円

- 利用時間：午前8時～午後5時（月曜日～金曜日）

※利用時間は、原則、1時間単位を基本（要相談）

※年末年始（12/29から1/3）、土日、祝日は除く

- サポート内容：掃除、簡単な家事、買い物、外出時の付き添い、介護予防・自立生活を支えるために必要とされるサポートの内容

- ◆実績：①利用者数：44人（男性11人／女性33人）

（要支援1：17人、要支援2：14人、事業対象者：13人）

②サポーター活動者数：（実）59人／（延）87人

③サポーター活動件数：896件

#### ④ 生活支援サービス検討委員会の開催（第1層協議体）

総社市における生活支援・介護予防サービスの体制整備をめざして、多様な活動関係間との①情報共有②連携・協働③資源開発を推進するために設置。

【第1回】（6月2日）

- ・地域包括ケアシステムと生活支援体制整備事業について
- ・総社市における協議体とコーディネーターの役割・機能について
- ・総社市生活支援にこにこサポート事業について
- ・検討部会の設置についてなど

【第2回】（1月16日）

- ・ 総社市における介護予防・日常生活支援総合事業の取り組み状況について
- ・ 総社市における生活支援体制（生活支援サービス）の取り組み状況について
- ・ 検討部会の設置（案）及び開催日程（案）について
- ・ 生活支援サービスの構築に向けた地域からの相談について

【第3回】（3月22日）

- ・ 検討部会の報告（給食サービス検討部会、生活の支え合い活動検討部会）
- ・ 給食サービス事業の周知・啓発について
- ・ 買い物支援のあり方について
- ・ 平成30年度の取り組み予定等（案）について

⑤ 生活支援サービス検討委員会検討部会の開催（第1層協議体専門部会）

【第1回 給食サービス検討部会】（2月7日）

- ・ 総社市における給食サービス事業の進捗状況について
- ・ 各事業所における給食サービス事業の進捗状況について
- ・ 給食サービス事業の充実・強化に向けて

【第1回 生活の支え合い活動検討部会】（2月21日）

- ・ 総社市における介護予防・日常生活支援総合事業について
- ・ 各団体の活動状況について（情報共有）

【第2回 生活の支え合い活動検討部会】（3月14日）

- ・ 各団体の活動状況（まとめ）について
- ・ 各団体における今後の取り組みについて
- ・ 活動状況の共有（活動報告及び質疑応答など）
- ・ 活動における課題解決に向けて（意見交換）

⑥ 圏域地域包括ケア会議の開催（第2層協議体）

- ・ 多様な関係者主体の定期的な情報共有及び連携、協働による取組を推進する。
- ・ 地域性のある生活支援サービスのニーズを集約する場。
- ・ 総社市における地域包括ケアシステムを実現する三層構造の位置付け  
（小地域ケア会議→圏域地域包括ケア会議→地域包括ケア会議）
- ・ 年3回開催

【第1回】

中央部北（総社・池田）	5月24日（水）	総合福祉センター
中央部南（常盤・清音）	5月30日（火）	清音福祉センター
東部（三須・服部・阿曾・山手）	5月26日（金）	山手出張所
西部（秦・神在・久代・山田・新本）	5月22日（月）	久代分館
北部（昭和）	5月30日（火）	縁（えにし）

【第2回】

中央部北（総社・池田）	9月26日（火）	総合福祉センター
中央部南（常盤・清音）	9月26日（火）	清音福祉センター
東部（三須・服部・阿曾・山手）	9月22日（金）	山手出張所
西部（秦・神在・久代・山田・新本）	9月25日（月）	久代分館
北部（昭和）	10月 4日（水）	縁（えにし）

【第3回】

中央部北（総社・池田）	1月30日（火）	総合福祉センター
中央部南（常盤・清音）	1月30日（火）	清音福祉センター
東部（三須・服部・阿曾・山手）	1月26日（金）	山手出張所
西部（秦・神在・久代・山田・新本）	1月29日（月）	久代分館
北部（昭和）	1月31日（水）	縁（えにし）

⑦ 地域の支え合いフォーラム2017 inそうじゃの開催

目的：地域における「人と人とのつながり」や「お互いさまの支え合い」について深め、いつまでも笑顔で暮らし続けるために、今！何ができるだろうか？地域での「輝く」実践から学び、一人ひとりが輝く、生涯現役・みんなが主役の「ふくしの輪」が広がることを目的として開催。

日時：平成29年12月9日（土）13：30～16：00

対象：一般市民・関係機関・団体等

参加者：400人

【第1部】（1）動画紹介 「The！地域の声 ♪まちかどインタビュー！」

（2）講 演

「人生これから！～あなたが輝ける場所を見つける旅に出かけよう！～」

講師：倉敷芸術科学大学 学長補佐 濱家 輝雄 氏

【第2部】（1）市民参加型活動報告会～そうじゃ端会議～

「1人ひとりが輝き！みんながつながる！ふくしの輪～」(65分)

・総社市民応援隊長：美作大学 社会福祉学科 教授 小坂田 稔 氏

・活動報告者

① 「住民主体の生活支援サービス」

・総社市生活支援にここをサポート連絡会

② 「地域の集い・居場所づくり」

・ちいさな道の駅池田

③ 「生涯現役（生きがいづくり）」

・そうじゃ60歳からの人生設計所登録者

## （12）ひきこもり支援事業の設置運営

### ①ひきこもり支援センター「ワンタッチ」の設置運営（新規）

「ひきこもり」に関する相談支援を行うためのワンストップ相談窓口として、ひきこもり支援センター「ワンタッチ」を平成29年4月11日（火）に開設した。専任の相談員2名（社会福祉士・精神保健福祉士／臨床心理士）によって、来所相談、訪問相談、電話相談、e-mailでの相談等、様々な手段で当事者及び家族等の相談支援を行った。

【ひきこもり支援センター「ワンタッチ」の相談実績】

・延相談件数 1,691件

（訪問495件、来所512件、電話632件、e-mail 52件）

・実相談者数 104人

（男性79人、76.0%、女性25人、24.0%）

（本人接触40人、家族接触40人、関係機関のみ24人）

・社会参加実人数 12人

（ボランティア体験4人、就労1人、短期就労2人、進学2人、復学1人、地区社協など行事への参加4人）

・イベント型居場所の延参加人数 14人

### ②ひきこもり支援等検討委員会

ひきこもり支援センター『ワンタッチ』の運営、事業の計画・推進（支援者の養成、居場所の設置等）予算の執行、規定の制定等について審議する、ひきこもり支援等検討委員会を開催した。委員会には、より専門的に協議・検討するため、3つのワーキンググループ（支援者養成WG・社会参加WG・事例検討WG）を設置している。

○ひきこもり支援等検討委員会（委員長：西田和弘 岡山大学大学院教授）

日程	内容
第1回 5月11日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■正・副委員長の選任</li> <li>■報告事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度報告</li> <li>・相談実績</li> </ul> </li> <li>■協議事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画、スケジュールについて</li> <li>・開設記念フォーラムの実施について</li> </ul> </li> </ul>
第2回 7月25日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■報告事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設記念フォーラム</li> <li>・相談実績</li> <li>・支援者養成WGの進捗状況</li> <li>・ひきこもりサポーターフォローアップ研修</li> </ul> </li> <li>■協議事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもりサポーター養成講座</li> <li>・居場所の開設</li> </ul> </li> </ul>
第3回 9月20日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■報告事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談実績</li> <li>・WG進捗状況（支援者養成・事例検討）</li> </ul> </li> <li>■協議事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもりサポーターの養成イメージ</li> <li>・居場所の開設について</li> <li>・家族会の設置について</li> <li>・次年度事業計画・予算について</li> </ul> </li> </ul>
第4回 11月28日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■報告事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国屈指福祉会議</li> <li>・相談実績、ひきこもりサポーター活動実績</li> <li>・支援者養成WGの進捗状況</li> </ul> </li> <li>■協議事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会参加WGについて</li> <li>・居場所の開設</li> <li>・家族会の設置</li> <li>・全国ひきこもり支援基礎自治体サミット</li> </ul> </li> </ul>
第5回 1月30日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■報告事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国屈指福祉会議</li> <li>・相談実績、ひきこもりサポーター活動実績</li> <li>・家族会の設置</li> <li>・居場所の開設</li> <li>・社会参加WG進捗状況</li> </ul> </li> <li>■協議事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国ひきこもり支援基礎自治体サミット</li> <li>・ひきこもりサポーター養成テキスト</li> </ul> </li> </ul>
第6回 3月15日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■報告事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談実績、ひきこもりサポーター活動実績</li> <li>・家族会の設置</li> <li>・居場所の開設</li> <li>・社会参加WG進捗状況</li> </ul> </li> <li>■協議事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国ひきこもり支援基礎自治体サミット</li> <li>・ひきこもりサポーター養成テキスト</li> <li>・平成30年度の事業予定</li> </ul> </li> </ul>

○支援者養成ワーキンググループ（リーダー：周防美智子 岡山県立大学准教授）

日程	内容
第1回 7月3日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■正・副リーダーの選任</li> <li>■報告事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもりサポーターフォローアップ研修</li> </ul> </li> <li>■協議事項</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもりサポーター養成講座</li> <li>・ピアサポーター養成講座</li> </ul>
第2回 9月5日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■報告事項</li> <li>・ひきこもりサポーター定例ミーティング</li> <li>■協議事項</li> <li>・ひきこもりサポーター養成イメージ</li> <li>・ひきこもりサポーターフォローアップ研修</li> </ul>
第3回 11月16日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■報告事項</li> <li>・ひきこもりサポーター定例ミーティング</li> <li>・ひきこもりサポーター養成講座</li> <li>■協議事項</li> <li>・ひきこもりサポーターフォローアップ研修</li> <li>・ひきこもりサポーター養成テキスト</li> </ul>

○社会参加ワーキンググループ（リーダー：直島克樹 川崎医療福祉大学講師）

日程	内容
第1回 12月27日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■リーダーの選任</li> <li>■報告事項</li> <li>・総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会“ふくしネットそうじゃ”の取り組み</li> <li>■協議事項</li> <li>・社会参加の定義について</li> <li>・居場所の設置・運営</li> <li>・多様な就労形態の創出</li> <li>・高等学校卒業程度認定試験や専門的資格取得</li> </ul>
第2回 1月15日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■副リーダーの指名</li> <li>■協議事項</li> <li>・社会参加の定義について</li> <li>・居場所開設式</li> </ul>
第3回 2月15日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■報告事項</li> <li>・居場所開設式</li> <li>■協議事項</li> <li>・社会参加の定義について</li> <li>・居場所運営</li> </ul>
第4回 3月28日（水）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■報告事項</li> <li>・居場所での活動実績</li> <li>■協議事項</li> <li>・社会参加の定義について</li> </ul>

○事例検討ワーキンググループ（権利擁護センターの支援検討委員会と共同開催）

日程	内容
7月27日（水）	■検討ケース 1件

③ひきこもりサポーター養成講座（平成28年度より開催）

地域の方等を対象に、ひきこもりに対する理解を深め、ひきこもりの方やその家族の支え手として居場所づくり・運営等に協力いただけるサポーターを養成するために開催した。

日程	内容
第1回 10月12日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■オリエンテーション</li> <li>「総社市におけるひきこもり支援の取り組み」</li> <li>講師：岡山県立大学保健福祉学部 周防 美智子先生</li> <li>説明者：岡山県備中保健所、総社市教育委員会、</li> </ul>

	社会福祉協議会
第2回 11月9日(木)	<b>■講義</b> 「ひきこもりの理解と支援①～ひきこもりについて知ろう～」 講師：岡山高等学院 副校長 水野 文一郎 氏 <b>■グループワーク</b> コーディネーター：社会福祉協議会 職員
第3回 12月14日(木)	<b>■講義</b> 「ひきこもりの理解と支援②～多角的な視点からひきこもりを考えよう～」 講師：岡山大学大学院 教育学研究科教授 塚本千秋 氏 <b>■グループワーク</b> コーディネーター：社会福祉協議会 職員
第4回 1月19日(金)	<b>■講義</b> 「ひきこもりの理解と支援③～居場所支援について考えよう～」 講師：NPO 法人あかね 中山 遼 氏 <b>■グループワーク</b> コーディネーター：社会福祉協議会 職員
第5回 2月23日(金)	<b>■活動報告</b> 「ひきこもりの理解と支援④～自分たちができることを考えてみよう～」 ・ひきこもりサポーターの活動報告 コーディネーター：岡山県立大学 周防 美智子氏 発表者：ひきこもりサポーター <b>■グループワーク</b> コーディネーター：社会福祉協議会 職員

○参加者数

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	男性	女性	参加	申込
第1回	3	2	3	7	12	4	2	12	21	34	45
第2回	0	2	4	10	13	4	1	12	22	35	47
第3回	2	1	3	11	13	5	2	11	26	37	49
第4回	1	1	4	8	9	4	2	8	21	29	50
第5回	1	0	4	7	12	5	2	8	24	33	50

○登録者数

・38名(内、平成29年度登録者21名)

性別	男	女
人数	12	26

年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
人数	4	2	5	6	11	8	2

④ひきこもりサポーターフォローアップ研修(新規)

ひきこもりサポーターのスキルアップを図ることを目的として、具体的な支援事例の検討や、他のひきこもり支援機関の見学研修等を行った。また、サポーターの活動内容を検討することを目的として、毎月1回ひきこもりサポーター定例ミーティングを開催した。

○ひきこもりサポーターフォローアップ研修

日程	内容	参加
第1回 6月28日(水)	<b>■フリースペースあかね見学研修</b> 研修：「フリースペースあかねの取り組み」 講師：NPO 法人あかね 中山 遼 氏 <b>■サポーター交流会</b>	10人
第2回 10月11日(水)	<b>■発達障がいについて</b> 研修：「発達障がいのある方への関わり方」 講師：総社市障がい者基幹相談支援センター センター長 山田 新二 氏 <b>■体験ワーク</b>	7人
第3回 1月18日(木)	<b>■当事者・家族への関わり方</b> 研修：「受け入れる、視点を変える、良いところを探す」 講師：ひきこもり支援センター「ワンタッチ」職員 <b>■グループワーク</b>	6人

○ひきこもりサポーター定例ミーティング

日程	内容	参加	
第1回	4月28日(金)	今年度取り組みたいこと	9人
第2回	5月18日(木)	居場所の内容検討	8人
第3回	7月6日(木)	居場所カフェ内容検討	7人
第4回	8月17日(木)	居場所カフェ振り返り	9人
第5回	9月26日(火)	DVD「ひきこもりからの回復 第1巻」視聴	10人
第6回	10月19日(木)	クリスマス会内容検討	6人
第7回	11月16日(木)	クリスマス会内容検討	6人
第8回	12月21日(木)	クリスマス会振り返り	7人
第9回	1月18日(木)	サポーター養成講座の発表内容検討	6人
第10回	2月15日(木)	サポーター養成講座の発表内容検討	8人
第11回	3月15日(木)	平成30年度の活動内容検討	11人

⑤ピアサポーター養成講座(新規)

「ひきこもり」当事者及び、経験者を対象に、同じ経験をした立場からひきこもり当事者を「居場所」やボランティアの場で支援するサポーターとなることを目指すことを目的としている。本講座は、センター利用者の中から希望する人を対象に実施する。今年度は希望者がいなかったため、開催実績無し。

⑥ 居場所の設置、運営

○模擬居場所

常設の居場所設立に向けて、まずは相談支援で関わっている事例からイメージした模擬「居場所」を当事者、専門職、サポーターを交えて企画実施。場所も既存の施設を利用。

○常設居場所

ひきこもり状態にある方や生きづらさを抱える方が、ホッと安心して過ごす、家族

以外の人と関わる、仲間づくりをする、生活体験をするなど、それぞれの目的で利用できる「安心して、自分らしく過ごせる場所」という目的で、空き家を利用し、常設の居場所「ほっとタッチ」を平成30年2月23日に開所。

日程	内容	場所
第1回 5月31日(水)	■ジャガイモ堀 ・当事者家族1名・サポーター1名・職員1名 ・地域住民2名	サポーター所有の畑
第2回 7月23日(日)	■居場所カフェ(開設記念フォーラム同日) ・当事者3名・サポーター10名・職員1名	市総合福祉センター
第3回 8月16日(水)	■卓球 ・当事者1名・サポーター1名・職員1名	サポーター所有の卓球場
第4回 9月26日(火)	■人狼ゲーム大会 ・当事者1名・サポーター4名・職員1名	サポーター宅
第5回 10月18日(水)	■サツマイモ堀 ・当事者1名・当事者家族1名・サポーター1名 ・職員1名	サポーター所有の畑
第6回 10月30日(月)	■サツマイモ堀 ・当事者1名・サポーター1名・職員1名	サポーター所有の畑
第7回 11月30日(木)	■クリスマス会&ハートフルそうじ準備 ・当事者2名・サポーター4名・職員2名	総社市総合福祉センター内
第8回 12月15日(金)	■クリスマス会 ・当事者5名・サポーター9名・職員2名	総社市総合福祉センター内
第9回 3月5日(月)	■ホットケーキ会 ・当事者2名・サポーター2名・職員2名	居場所「ほっとタッチ」

#### ⑦ひきこもり家族会の組織化(新規)

ひきこもり状態にある方の家族(両親・きょうだい・親戚)会の設立を支援するために、ひきこもり家族会設立準備会を開催した。また、家族同士がお互いに励まし合えるような交流会や、ひきこもりについて勉強できるような研修会を開催した。

##### ○ひきこもり家族会設立準備会

日程	内容	参加
第1回 10月31日(火)	家族向け研修会の内容検討	4人
第2回 2月19日(月)	情報交換会	6人
第3回 3月22日(木)	愛称、活動スケジュール検討	6人

##### ○ひきこもり家族向け研修交流会

日程	内容	参加
1月23日(火)	■家族向け研修 <講師> 行きしぶり・不登校親の会 代表 戎 千鶴子氏(新見市) NPO法人 KUKKA 代表理事 坂ノ上 順子氏(倉敷市) <セッションテーマ> ・家族会設立のきっかけ、体験談 ・家族会の取り組みと効果 ■家族交流会	10人

#### ⑧ひきこもり支援センター設立記念フォーラム(新規)

ひきこもり支援センター「ワンタッチ」の開設を記念し、これからのセンターでのひきこもり支援の取り組みについて、一般市民や地域の関係者へ広く周知することを目的

として、「総社市ひきこもり支援センター開設記念フォーラム」を開催した。その中で、「全国の先行事例を参考にしつつ、総社らしい、総社ならではの仕組み作りが必要」、「サービスがニーズを掘り起こすように、独自の多様なメニューを作っていく」、「当事者が自己決定で選択できるメニュー作成」などのご意見をいただいた。当日は、200人の地域の方や他市町村、県外の方がご来場いただき、盛況のうちに終わることができた。

開催日 平成29年7月23日（日）

場所：総社市総合福祉センター

基調講演：『引きこもり』の理由、社会的背景、そして苦悩…

～「引きこもり」するオトナたち～

講師：ジャーナリスト 池上 正樹 氏

経過報告：「総社市での『ひきこもり支援』の取り組み～実態調査から『ひきこもり支援センター』の開設へ～」

報告者：ひきこもり支援等検討委員会 委員長 西田 和弘 氏

座談会：「なぜ？いま、ひきこもり支援なのか？」

西田 和弘 氏（座長）、池上 正樹 氏、

川上 富雄 氏（駒澤大学 文学部社会学科 准教授）

中井俊雄（総社市ひきこもり支援センター「ワンタッチ」センター長）

### （13）社会福祉法人との連携事業

平成29年7月1日、社会福祉法第24条第2項に規定される「地域における公益的な取組」を協働して行うことを目指して、総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会（愛称：ふくしネットそうじゃ）が設立しました。総社市内に拠点のある社会福祉法人（20法人）に呼びかけ、18法人が加入し、活動を展開されました。

「ふくしネットそうじゃ」に加入している社会福祉法人（平成30年3月時点）	
スキーム福祉の会	金曜会
雪舟福祉会	やさい畑クムレ
超寿会	吉備のくに福祉会
梁善会	あのね保育園
新生寿会	真美会
経山会	進和福祉会
吉備路の会	すずらん保育園
総社市社会福祉事業団	総社福祉会
ももその学園	総社市社会福祉協議会（事務局）

○設立及び記念講演会の開催（7/1）

【総会】（出席者：19名）

・会則の制定 ・幹事及び役員会の選任 ・平成29年度 事業計画及び予算計画など

【記念講演会】（参加者：73名）

講演：「子どもの貧困の実態と解決に向けた展望 ～子どもの未来は私たちの未来～」

講師：川崎医療福祉大学 講師 直島 克樹 氏

○役員会の開催

4回（8/8・10/4・12/14・3/2）

○部会の開催

【事業部会】 2回（9/19・11/28）

【調査・研修部会】 4回（9/14・11/29・1/17・2/21）

○くらし応援事業の実施

おかやまコープ総社東店、総社市生活困窮支援センターとの協働でフードドライブを実施した。

（趣旨）食料品の寄付を募り、いただいたものを生活困窮支援に役立てる活動。

**第1回** 平成29年10月22日（日）10：00～13：00

参加者：12名（うち本会から8名、おかやまコープ3名、フードバンク岡山1名）

協力者：18名 協力法人：8法人

総数：981個（378品目） 総重量：187.5kg

**第2回** 平成30年2月4日（日）10：00～13：00

参加者：16名（うち本会から14名、おかやまコープ3名、フードバンク岡山1名）

協力者：25名 協力法人：7法人

総数：1,160個（503品目） 総重量：206.4kg

○しごと応援事業の実施

（趣旨）ひきこもりの方などを対象に、ボランティアや就労を体験できる機会として福祉施設等で受け入れ、社会参加や自立生活に向けた支援を行う活動。

実績：梁善会（特別養護老人ホーム さくばらホーム）1名（受入活動日数116日）

経山会（特別養護老人ホーム 三清荘） 1名（受入活動日数94日）

スキーム福祉の会（特別養護老人ホーム グリーンアンドリバーホーム）1名

（受入活動日数36日）

○安心すまい応援事業の実施

（趣旨）DV被害者の一時避難先や、生活困窮者の一時的な生活の場（宿泊等）として受け入れる活動。

実績：吉備路の会（吉備路学園）2名

### ○子育て応援事業の実施

(趣旨) 子育てに課題や悩みを抱える保護者を対象に、育児への関わり方のヒントを提供したり、共に考える機会を提供する活動(ペアレントサポート)。

実績：社会福祉事業団(障がい児通園施設 はばたき園) 参加者 11名(7世帯)

第1回 平成29年7月 8日(日) 第2回 平成29年7月22日(日)

第3回 平成29年8月 5日(日) 第4回 平成29年8月26日(日)

第5回 平成29年9月 9日(日) 振り返り 平成29年11月4日(日)

### ○新たな取り組み応援事業の実施

(趣旨) 市内で先駆的かつ公益的な取り組みで、公的助成が見込めない団体に対し、必要経費の一部を助成する活動。

実績：1件「こども食堂 くうねるあそび」に助成

※11月から毎月1回開催し、今年度は5回実施

(延参加者：こども53名、大人83名 ※スタッフ含む)

### ○ひきこもり調査の実施

(趣旨) ひきこもりを社会全体の共通課題であると認識し、実務の中で可能な限りその実態把握や状態像の調査を行う活動。

説明会：平成29年11月22日(水) 10:00~11:00

実施方法：法人内の業務で関わる利用者家族などで、総社市の「ひきこもり」の定義に該当する方があれば、「ひきこもり調情報提供カード」に記載し、提出する。

実施期間：平成29年11月~平成30年3月

実績：13件

### ○視察研修会の開催

日時：平成30年2月27日(火) 8:00~15:30

視察先：美作市内の社会福祉法人等連絡協議会

内容：お互いの会の事業を知り、意見交換・交流を図る

参加者：12名

### ○実践報告シンポジウムの開催(3月11日)

講演：「社会福祉法人から地域共生社会を ~地域とのつながりを大切に~」

講師：岡山県老人福祉設協議会 会長 小泉 立志 氏(報告ではコメンテーター)

実践報告：梁善会 櫻井 浩之(コーディネーター)

雪舟福祉会 守安 伸聡(事業部会について)

金曜会 横田 留美(調査・研修部会について)

総社市生活困窮支援センター 日下部 祐子(こども食堂について)

参加者：119名

#### 4. 子育て支援事業

##### (1) 子育て支援団体への支援

- ・総社市インクルージョン推進協議会の支援
- ・総社市地域自立支援協議会 こどもに寄り添う連絡会の支援
- ・備品の貸し出し

##### (2) 子育てサロン事業の支援

- ・子育てサロンへの相談支援（9か所）
- ・子育てサロン情報交換会の開催2回、参加者5人
- ・活動助成金の交付
- ・備品の貸し出し

##### (3) 地域密着型子どもまつりの開催支援（地区社協子育て支援事業助成）

- ・地区社会福祉協議会と連携して地域密着型の子どもまつりの開催
- ・多世代交流事業としても開催

地区	日程	参加人数	行事名	内容
清音	10/21	約200人	集まれ！清音 みんなの広場 （旧きよね健康 福祉まつり）	対象者：乳幼児から高齢者（三世代 交流） ・魚釣り・お手玉・玉入れ・PBボ ーリング・小麦粉ねん土等
三須	11/12	約320人	第20回ふれあい 文化まつり 園児・幼児ふれあ い広場	対象者：乳幼児以上、地域の方（三 世代交流） ・幼児ふれあい広場（魚釣り、作品 展示、遊戯発表）
服部	8/24	90人	夏休みお楽しみ 会	対象者：小学生、幼児、保護者、ボ ランティア ・カレー、フルーツポンチ作り、交 流遊び、紙芝居
山手	6/8	58人	やまてちびっこ まつり	対象者：幼児から就学前児 ・ふれあひあそび・パネスシアター、 ボールハウス、新聞紙プール、手 作りおもちゃ作り、シャボン玉あ そび
久代	10/31	27人	久代幼稚園児と のふれあい	対象者：幼稚園児、地区社協、民生 委員児童委員 ・読み聞かせ、ダンス、子ども相撲・ 遊具を使っでの交流
昭和	7/9	500人	五つ星学園こど もまつり	対象者：幼稚園、小学生、保護者、 昭和地区住民、地区社協 ・五つ星学園の踊り、歌などの発表、 竹でっぼう体験
池田	12/23	59人	池田地区「子育て 交流会」(第1回)	対象者：未就学児、幼稚園、小学生 ・チュッピーとのふれあい、ドッジ ビー、各種ゲーム、ビンゴゲーム

## 5. 高齢者福祉事業

### (1) 配食サービス事業の実施

#### ① 生活支援型給食サービスの実施

市から受託し、一人暮らし高齢者等に対し、食生活の安定等を目的とした「総社市給食サービス事業」を全市（山手・清音地区を除く）で実施。

対象者 65歳以上の一人暮らし及び高齢者のみの世帯員等

対象地区 市内全域（山手、清音地区を除く）

配食回数 週2回 火曜日・金曜日の夕食(週1回でも利用可)

利用料金 ご飯とおかず 400円 おかずのみ 350円

平成29年度 延849食（主食・副食214食、副食のみ635食）

配食協力員 13人

※ 本事業は、7月から総社市の直営事業となりました。

#### ② 地区給食サービスの実施（地区社協主催で実施）

・原則年9回実施

・実績 延9,309食（上期 4,240食 下期 5,069食）

・ボランティア人数 延2,485人（上期1,054人 下期1,431人）

### (2) 敬老会の開催（地区社協主催で開催）

地区社協ごとに4月下旬から11月初旬にかけて実施

対象者： 5,700人（80歳以上）

参加者： 1,286人（参加率22.6%）

地区	開催日		会場	開催内容	対象者	参加者
総社	5/14（日）		総合福祉センター	・演劇「たんぼぼ座」 ・歌・踊り、寸劇	1,464人	158人
常盤	5/14（日）		サンワーク総社	・日本舞踊、民謡 ・らくらく体操	712人	114人
池田	4/29（土）		池田小学校	・スイートピーによる 歌と体操・踊り	162	38人
清音	黒田	9/18（月）	黒田デイサービスセンター	・ビンゴゲーム ・じゃんけん ・ふれあい遊び	519人	7人
	古地	9/19（火）	古地公会堂	・講演「消費生活および交通安全について」		6人
	上中島	10/16（月）	サントピア総社岡山	・映画「オケ老人」		20人
	柿木	10/3（火）	やま幸	・会食 ・演芸鑑賞		46人
	軽部	6/5（月）	清音福祉センター	・脳トレ・歌 ・ビンゴゲーム		48人
	三因	11/9（木）	高知みかん狩り土佐タタキ工場	・みかん狩り ・工場見学		14人
	小計					519人

三須	5/23 (火)	三須分館 (コミュニティハウス)	・園児による演芸 ・大正琴の演奏	331 人	53 人
服部	4/27 (木)	食事処「前田」	・幼稚園児の演芸 ・包括による体操	209 人	67 人
阿曾	5/13 (土)	阿曾小学校体育館	・大正琴、舞踊 ・銭太鼓、体操 ・成羽子ども神楽	331 人	88 人
山手	9/11 (日)	山手公民館	・「五月座」による演芸	372 人	114 人
秦	5/6 (土)	サントピア岡山総社	・ひばりの会による舞踊	222 人	91 人
神在	5/14 (日)	サントピア岡山総社	・神在小の合唱と合奏 ・琴、尺八の演奏 ・安来節、傘踊り 合唱など	167 人	57 人
久代	5/14 (日)	久代分館	・大正琴 ・マジック ・消費生活トラブル防止 (寸劇)	341 人	109 人
山田	4/29 (金)	山田分館	・大正琴、民謡 ・特殊詐欺寸劇	90 人	28 人
新本	5/5 (金)	新本小学校	・大正琴、詩吟 ・神楽 ・スイートピーによるコーラス	197 人	55 人
昭和	5/21 (日)	昭和中学校	・備中神楽	583 人	173 人
計				5,700 人	1,286 人

### (3) 高齢者等団体 (老人クラブ、ひとり暮らし高齢者の会、介護者の会) の支援

#### ○いきいきシニア総社 (総社市老人クラブ連合会)

- ・60クラブ 3,530人
- ・主な事業：総会、研修会、グラウンドゴルフ大会、パタンク講習会、パタンク大会、女性委員会主催行事

#### ○松寿会 (ひとり暮らし高齢者の会)

- ・対象：市内在住で65歳以上の一人暮らしの方
- ・会員：86人
- ・内容：総会、交流会、移動研修、講演会、役員会

#### ○総社介護者の会

- ・対象：身体に不自由な方等を介護している方、介護体験者等
- ・会員：32人
- ・内容：総会、茶話会、研修旅行、料理教室、役員会

### (4) そうじゃ60歳からの人生設計所 (生涯現役促進事業) の設置運営

高齢者の就労や創業、社会参加等の希望を相談できるワンストップ窓口です。

業務内容、就労時間、雇用形態などひとりひとりにあった働き方をハローワーク、シルバー人材センターなどの関係機関と連携しながらマッチングするお手伝いや高齢者雇い入れ企業の開拓を行なっています。また、ボランティアなどの地域・社会参加活動の情報提供も行なっています。

○実績

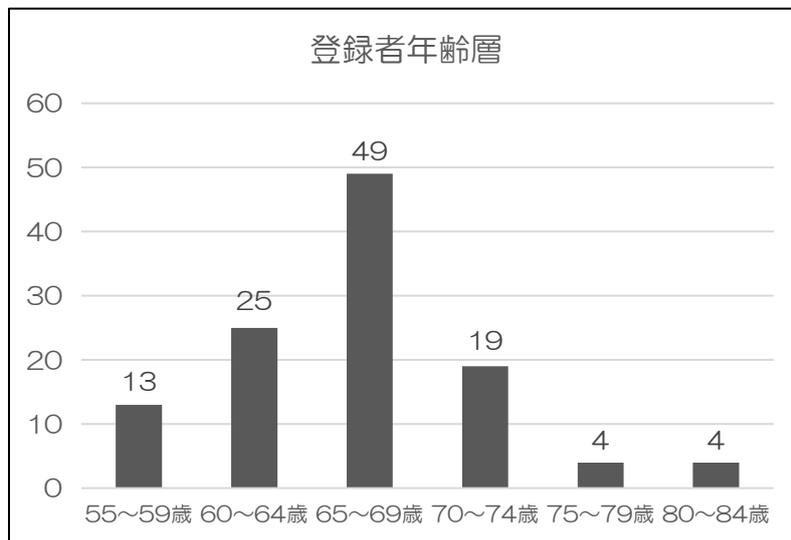
- 相談延件数 2,150件
- 実相談者数 136人（うち登録者114人 男：64人 女：50人）
- 年齢 55歳～81歳  
（平均年齢 66.1歳）
- 就労者数 70人

【主な就職先】

食品製造業、清掃業、小売業、サービス業など

【主な地域・社会参加活動】

生花講師、各種養成講座への参加、学習支援事業「ワンステップ」、にこにこサポーターなど



## 6. 障がい者福祉事業

### (1) 障がい者基幹相談支援センターの設置運営

#### ① 相談支援の実施（電話、来所、訪問、その他）

基幹相談支援センターは、地域における障がい者相談支援の中核的な役割を担う機関です。

（相談支援を利用している障がい者等） (人)

	実人員	身体	知的	精神	発達	高次脳	難病	その他
障がい児	132	5	30	2	72	0	1	38
障がい者	194	21	62	68	37	3	3	35
計	326	26	92	70	109	3	4	73

（相談支援方法）合計 2,817 件 (件)

	訪問	来所 相談	同行 訪問	電話 相談	E-mail	ケア 会議	関係 機関	その他	
相談者数	218	356	70	1,045	42	102	978	6	
内 訳 ※ 重 複 あ り	身体	18	25	1	119	14	2	59	0
	知的	30	134	40	303	13	45	398	3
	精神	66	108	21	482	5	29	327	0
	発達	56	134	28	195	2	52	378	3
	高次脳	0	4	2	10	0	0	8	0
	難病	3	2	0	2	13	3	13	0
	その他	60	27	0	34	2	2	66	2

#### ② 障がい者地域移行・地域定着支援の実施

基幹相談支援センターとしては、指定一般相談支援事業者としての地域移行・地域定着支援は実施していません。基幹相談支援センターに求められる役割の一つとして、入所施設や精神科病院等と連携し、障がいのある方の地域移行・地域定着をサポートしています。

### (2) 発達障がい者支援体制整備事業

#### ① 発達障がい者支援ネットワークの構築

発達障がい者支援体制整備事業は、総社市における発達障がい者（児）について、乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応する一貫した支援体制の整備を図り、発達障がい者（児）の福祉の向上を図ることを目的としています。

総社市では、発達障がい支援コーディネーターを基幹相談支援センターに配置し、障がいに関するワンストップの相談窓口を設置しています。基幹相談支援センターは総社市地域自立支援協議会事務局を担っており、相談者個人の問題とするのではなく、広く総社市の地域課題として、行政をはじめとする関係機関と協議していく体制を構築しています。障がい者千人雇用センターとの連携を含め、学校卒業後も見据えた、生涯にわたる一貫した支援を提供する体制を整備していきます。

○ 相談支援実数181人（延1,053件）

・児童117人（うち 未診断・未確認45人、知的障がいを伴う20人）

- 成人 64人（うち 未診断・未確認27人、知的障がいを伴う29人）  
（相談支援方法） 計 1,053 件

訪問	来所 相談	同行 訪問	電話 相談	E-mail	ケア 会議	関係 機関	その他
112 件	160 件	31 件	229 件	3 件	66 件	448 件	4 件

○ 関係者の研修・その他の取組等  
（研修会の開催）

- 8月4日（金）子育て支援の地域における連携を考える会研修会 開催  
基調講演：「理解を地域に広げていくためには」  
講師：松田 正真 氏（作陽音楽短期大学 音楽学科 専任講師）  
参加者：57人
- 発達障がい支援者養成講座「みんなで学ぼう！発達障がい」（全5回）  
講師：重松 孝治 氏（川崎医療短期大学 医療保育科 講師）  
申込者：156人、延べ参加者：449人
- 総社市地域自立支援協議会こどもに寄り添う連絡会研修会  
『余暇活動について考えよう』開催  
5月10日（水）「余暇って何だろう？」  
5月17日（水）「余暇を豊かにする環境づくり」  
講師：小田桐 早苗 氏（川崎医療福祉大学 医療福祉学部 講師）
- 総社市地域自立支援協議会 療育支援事業所連絡会（年3回開催）  
会場となる事業所の紹介と事例を通してのグループワーク  
スーパーバイザー：諏訪 利明 氏（川崎医療福祉大学 医療福祉課学科 准教授）  
市内すべての事業所が参加
- 総社市地域自立支援協議会 実務担当者会議  
映画上映『ぼくと魔法の言葉たち』 計2回上映、約50名鑑賞

（コーディネーター派遣等）

- 第2回 特別支援教育担当者研修会 5月16日（火）
- 手をつなぐ親の会総会 5月30日（火）
- 特別支援教育班（中学校）夏期研修会 7月26日（水）
- 第2回ひきこもりサポーターフォローアップ研修10月11日（水）
- 日本自閉症スペクトラム学会中国支部第7回資格認定講座11月19日（日）
- 学校教育課 進路説明会 1月22日（月）
- ノートルダム清心女子大学 障害者福祉論 2月 2日（金）
- 放課後児童クラブ特別支援研修会 2月15日（木）
- 総社市全国屈指福祉会議 発達障がい児支援部会
- 総社市教育支援委員会委員
- ペアレントサポート（全5回：総社はばたき園）
- 総社市4歳児発達支援事業（市内幼稚園、保育所（園）等を訪問）

- ・ 総社市内の放課後児童クラブ（1か所）への定期訪問（助言等）
- （その他）
- ・ 総社市地域自立支援協議会の事務局を運営している
  - ・ 総社市地域自立支援協議会 こどもに寄り添う連絡会を開催（6/1、9/28、1/11）
  - ・ 総社市地域自立支援協議会 療育支援事業所連絡会を開催（7/18、10/4、2/1）

② 発達障がい支援者養成講座の開催

自閉症等の発達障がい児（者）の保護者及びその支援に関わる人たちに、専門的知識を提供する機会を設け、発達障がい児（者）の支援に関する専門性を高めることを目的とし開催した。

【発達障がい支援者養成講座】「みんなで学ぼう！発達障がい」

5回開催（11/15・12/8・1/18・2/9・3/5）

場所：総社市総合福祉センター

対象：総社市在住の発達障がい児（者）の保護者及び支援者など

講師：川崎医療短期大学医療保育科 講師 重松孝治 氏

内容：第1回 発達障がいの特性  
 第2回 個々の子ども理解に向けて  
 第3回 子どもに伝わる伝え方  
 第4回 子どもからの発信を育てる  
 第5回 気になる行動へのアプローチ

申込者数：156人

参加者数：延449人

(3) 障がい者千人雇用センターの設置運営

① 障がい者就労支援の推進

障がい者千人雇用センターでは、専門職員を配置（千人雇用ワーカー3人、ハローワーク職員1人）し、働きたい障がい者と、雇用したい企業との間に入り、きめ細やかな支援を行っています。就職後も職場を訪問し、アフターケアを行っています。

相談件数（延）：5,534件

就職件数：99件・職場実習：75件

○障がい種別（延）

身体	知的	精神	発達	高次脳	難病	その他
570件	1,126件	3,657件	444件	20件	31件	162件

○就労状況（延）

在職中	求職中	実習中
3,684件	1,653件	197件

○相談方法（延）

訪問	来所	電話	e-mail	その他
459件	927件	3,241件	33件	874件

② 障がい者就労1,000人達成、障がい者千五百人雇用センターの設置

平成29年5月に「障がい者千人雇用事業」の目標であった障がい者の就労者数1,000人を達成しました。今後さらに障がい者の雇用促進と就労の安定化、障がい者のライフステージを通じた支援を実現するため、新たな目標を障がい者就労1,500人とし「総社市障がい者千五百人雇用センター」が設置されました。

### ③ A型事業所再雇用緊急対策本部の設置

倉敷市の就労継続支援A型事業所を運営する企業が倒産し、大量の解雇者が発生したことを受け、平成30年3月19日「A型事業所再雇用緊急対策本部」が障がい者千五百人雇用センターに併設されました。対策本部では解雇者に対し再就職に向けた支援を行っています。

## (4) 障がい者地域活動支援センター（I型）「ゆうゆう」の設置運営

### ① 日中活動支援事業（創作的活動、生産活動、社会との交流促進等の事業を実施）

地域活動支援センター「ゆうゆう」は、総社市在住で18歳以上の障がいのある方を対象としています。障がいのある方の地域生活を支援するために専任の職員を配置し、日中活動の場の提供、地域交流などの各事業を実施しています。障がいのある方・ご家族にとって住みやすいまちづくりをめざし、当事者主体の活動拠点として事業を行っています。

- ・日中活動利用者 延人数 1,782人 ・登録者数 52人
- ・日常生活支援事業（利用者のニーズに応じた各種サービスの提供）
- ・地域交流事業（行事の企画実施）
- ・広報・啓発事業 ゆうゆう通信の発行（月1回）

### ② 料理教室の開催

毎月1回、生活の基盤となる食事について、買い物から片づけまでの一連の流れを通して、料理することの楽しさを感じ、自分でできることを増やしていけるよう料理教室を開催しています。また、管理栄養士による栄養に関する指導と料理講習を行っています。

## (5) 地域自立支援協議会の運営

### ① 全体会議・運営会議・実務担当者会議・部会・プロジェクトチームの運営

総社市では、平成19年3月から「総社市地域自立支援協議会」が設置されており、事務局を総社市障がい者基幹相談支援センターが担っています。

障がい者福祉の関係機関の情報共有及び連携を図るとともに、障がい者福祉に関する支援システムの構築、生活に必要な社会資源の創出・改善などを協議することで、障がいのある方が総社市で安心して暮らせることを目指して開催しています。

当事者団体、家族、施設、関係機関、行政関係者など60以上の団体・機関から構成されています。

（地域自立支援協議会開催状況）

- 全体会議 1回開催（6/16）
- 実務担当者会議 2回開催（9/22・3/16）※ 委員向けの研修会として開催
- 運営会議 4回開催（5/19・7/21・11/17・1/19）
- 専門部会・プロジェクトチーム・連絡会

No	専門部会名	開催回数
1	住まいを考える部会	6回
2	地域生活支援拠点等検討プロジェクトチーム	3回
3	ハートフルそうじゃ実行委員会	6回
4	相談支援事業所連絡会	6回
5	こどもに寄り添う連絡会	3回
6	日中活動事業所連絡会	3回

7	日中一時支援事業所連絡会	3回
8	療育支援事業所連絡会	3回

○ハートフルそうじゃの開催（12月2日）

障がい者週間にあわせて実行委員会形式で開催（参加者約500人）

○地域自立支援協議会研修会（実務担当者会議）

9月22日「嚥下機能について、誤嚥予防について」

講師：プライムケアデンタル 河本 実希 氏

3月16日 映画上映『ぼくと魔法の言葉たち』

○相談支援事業所連絡会研修会

『超初心者研修』

講師：岡山県圏域相談支援コーディネーター 大橋 靖司 氏

・5月31日「障がい福祉サービスについて」

・8月23日「アセスメントとモニタリングについて」

6月7日「一緒に学ぶお互いの役割とチーム支援

～サービス責任者と相談支援専門員～

講師：岡山県圏域相談支援コーディネーター 村上 眞 氏

3月14日「事例検討におけるファシリテーション」

講師：岡山県圏域相談支援コーディネーター 村上 眞 氏

○こどもに寄り添う連絡会研修会『余暇活動について考えよう』

5月10日（水）「余暇って何だろう？」

5月17日（水）「余暇を豊かにする環境づくり」

講師：川崎医療福祉大学医療福祉学部 小田桐 早苗 氏

○日中活動事業所連絡会 事業所説明会（6/10）

○岡山県自立支援協議会事務局連絡会 2回開催（7/6・2/20）

○備中圏域自立支援協議会連絡会 2回開催（6/26・2/7）

## ② 障がい者福祉フォーラム（ハートフルそうじゃ）の開催

障がい者福祉をより重層的・包括的に実践していくためには、当事者、家族、住民、ボランティア、医療・福祉関係者、行政等が更に連携して支援システムづくりを推進する必要があります。そこで、本フォーラムを契機として、障がいのある方が地域で安心して暮らせるまちづくりの推進を目指し、障がい者福祉フォーラム（ハートフルそうじゃ）を「障がい者週間」にあわせて開催しています。

テーマ：みんなが笑顔でやさしいまちへ ハートフルそうじゃ

～共に生きる 共に楽しむ～

日 時：平成29年12月2日（土）13：00～16：00

会 場：総社市総合福祉センター・総社市保健センター

参加者：約500人

内容・日程

（全館一斉）

12：00 受付開始（1階玄関付近）

13：00 開会式（オープニングセレモニー：3階大会議室）

あいさつ

総社市長 片岡 聡一

総社市地域自立支援協議会ハートフルそうじゃ実行委員会

実行委員長 坪井 直人

あいサポート認証式

チューピー体操

- 「みんなでカラダを動かそう♪～チュッピーでハッピー～」
- (3階 大会議室)  
 13:00 開会式  
 13:35 「おんがく広場♪～歌おう・踊ろう・演奏しよう🎵～」  
 ①宇野たくろうバンドによる生演奏  
 ②当事者による発表  
 ③音楽ワークショップ・セッション
- (2階 保健指導室・集団指導室)  
 12:30 カフェコーナー  
 (福祉施設・事業所等の飲食物等の販売・飲食スペース)
- (2階 教養研修室)  
 13:00 体験コーナー (意思疎通支援体験)
- (2階 技能習得室)  
 13:00 販売・製作体験・展示コーナー  
 (福祉施設・事業所等の制作物の販売・体験、福祉機器展示、寄せ植えワークショップ)
- (2階 ラッコの部屋)  
 13:30 「カプラっこの部屋～カプラ®ブロックで遊ぼう♪～」  
 (カプラ®ブロック)  
 指導：KAPLA岡山 日野 定幸氏
- (1階 運動指導室・健康相談室)  
 13:00 プレイゾーン  
 (伝承遊び・手作りあそび・クリスマスツリーへメッセージ)
- (1階 屋外)  
 13:00 販売コーナー、飲食コーナー

## (6) 意思疎通支援事業の実施

- ① 手話奉仕員養成講座の実施
  - ・手話奉仕員養成講座（基礎編）の開催
  - ・22回開催
  - ・延258人参加
- ② 要約筆記者養成講座の実施
  - ・要約筆記者養成講座への参加（2人参加）
- ③ 点訳ボランティアへの支援
  - ・広報誌、社協だより、図書等の点訳・寄贈

## (7) 障がい者（児）団体の支援

障がい者（児）団体に対し、団体の活動に関する情報提供や要望に応じて助言しています。また、事務局や運営委員の一員としての役割を担うなど、団体の活動をサポートしています。

- ・総社市インクルージョン推進事業協議会
- ・総社市身体障害者福祉協会

## 7. 権利擁護事業の設置運営

### (1) 権利擁護センターの設置運営

#### ① 運営委員会の開催

権利擁護センター運営のための事業計画の審議や事業の進捗状況管理を目的に開催した。

日程	内容
4月18日	平成28年度権利擁護センター実績報告について 市民後見人登録選考委員会からの報告及び総社市への答申について 平成29年度総社市市民後見人養成者数について 平成29年度権利擁護センター事業計画（案）について
9月28日	平成29年度市民後見人養成事業について 今後の市民後見人養成及び支援について 情報提供「成年後見制度利用促進基本計画について」
3月13日	市民後見人登録審査会の委員選出について 市民後見人の報酬について ワーキンググループからの報告について 平成30年度権利擁護センター事業計画（案）について

#### ② 支援検討委員会の開催

個別事例の支援調整、困難事例の検討、事例を通じた研修を実施した。

日程	内容
4月18日	事例検討（1件） 検討事例状況報告
5月17日	事例検討（2件）内、継続ケース1件 検討事例状況報告
6月16日	事例検討（1件）内、継続ケース1件 検討事例状況報告
7月27日	事例研究（1件） 検討事例状況報告
8月17日	事例検討（1件）内、継続ケース1件 総社市市民後見人養成研修 受講者面接の委員選出について 検討事例状況報告
10月26日	事例検討（1件） 検討事例状況報告 中核機関フォーラム（仮）の開催について
11月27日	事例研究（1件） 検討事例状況報告 地域権利擁護ネットワークフォーラム（仮）について
12月26日	事例検討（1件） 検討事例状況報告 地域権利擁護ネットワークフォーラムについて
1月23日	事例検討（1件） 検討事例状況報告 市民後見人の総社市社協との複数後見案件について
2月15日	検討事例状況報告 地域権利擁護ネットワークフォーラムの報告について
3月13日	事例検討（3件）内、継続ケース1件

### ③ ワーキンググループの開催

権利擁護課題の解決に向けて、ワーキンググループを設置し、調査、研究を行った。

#### ・専門職支援連携構築ワーキンググループ

日程	内容
5月30日	情報提供「玉野市における専門職連携の取り組みについて」 専門職支援連携構築（ネットワーク）の方法について 今後のスケジュールについて
2月23日	そうじゃ権利擁護ねっとの状況について 今後の専門職支援連携構築ワーキンググループについて

#### ・高齢者虐待対応評価ワーキンググループ

日程	内容
2月15日	総社市における高齢者虐待の対応について 高齢者虐待対応の中での課題について 今後のスケジュールについて

### ④ 虐待防止対策事業の実施

行政や関係機関と連携して「高齢者虐待」「障がい者虐待」「児童虐待」「DV」に対応。

#### ・相談実績

	高齢者虐待	障がい者虐待	児童虐待	DV
実数	47人	8人	0人	6人
延対応数	794件	209件	0件	38件
平均対応数	16.9件	26.1件	0件	6.3件

#### ・障がい者虐待防止研修会

内 容：事務局説明「障がい者虐待に関する対応状況等調査の結果について」  
研修「地域で障がい者虐待を防止するために」

講師：岡山県障害者権利擁護センター 運営委員 山崎 弘一 氏

対 象：市内の事業所（企業）及び障がい福祉サービス事業所職員

参加者：40名

### ⑤ 成年後見支援事業の実施

市民や支援者からの成年後見制度における相談に対応した。

実数：68人 延対応数：881件 平均対応数：13件

### ⑥ 入院・入居支援事業の実施

賃貸住宅等への入居に関する契約等の困難に対応するため支援を行った。

・相談実績 実数：22人 延対応数：321件 平均対応数：14.6件

#### ・居住支援講演会

内 容：居住支援団体による居住支援制度説明

「居住支援の現状とおかやま入居支援センターについて」

講師：おかやま入居支援センター 井上 雅雄 氏

「家賃債務保証制度について」

講師：高齢者住宅財団 榊原 潤 氏

対 象：市内の不動産関係者及び居住支援に関心のある支援者

参加者：30名

⑦ 犯罪被害者支援事業の実施

犯罪被害者への支援について相談を行った。

・相談実績 実数：0人 延対応数：0件 平均対応数：0件

・犯罪被害者支援フォーラム

内 容：講演「DV 被害者に対する民間支援団体の取り組みと地域への期待」

講 師：公益社団法人被害者サポートセンターおかやま（VSCO）

犯罪被害相談員 難波 光 氏

対 象：一般市民

参加者：58名

⑧ 市民後見人養成事業の実施

市内で市民後見人として活動いただける方を養成することを目的に開催。今年度は3人が次の研修を受講し修了した。

・岡山県市民後見人養成講座

平成29年10月22日～12月3日の7日間で、成年後見制度や市民後見人活動の基礎的内容について、知識・技術を習得していただいた。

・総社市市民後見人養成研修

総社市における地域福祉の取組、市民後見概論や専門的な関係制度・民法の基礎事項を行政や弁護士・司法書士等を講師として研修会を実施し、受講いただいた。

実施日：平成30年1月10日～2月28日の4日間

現場実習（施設見学・後見人同行）

⑨ 市民後見人フォローアップ事業の実施

市民後見人登録者15人を対象に、成年後見業務に関する知識や技術の向上を目的に開催した。

日程	内容
5月24日	本年度の研修会の内容について
7月19日	市民後見人の事例検討
9月20日	「対人援助の基礎知識と面接技術の実際～本人を主体として捉える～」
11月15日	当事者理解のための施設見学（吉備の里）
1月17日	「瀬戸内市の市民後見人活動について」
3月14日	「公正証書と取り扱い業務について」

⑩ 法律ミニ講座の開催

市民や専門職に法律の正しい知識を身に着けることを目的に開催した。

総社市権利擁護センター所属の小田弘昭弁護士により、次のとおり開催した。

日程	内容	参加者
6月22日	消費者問題～悪徳商法から身を守る方法～	14人

7月27日	離婚の法律問題～知っておきたい基礎知識～	19人
8月24日	交通事故～当事者になってしまったら～	15人
9月28日	こどもの法律問題～学校問題を中心に～	13人
10月26日	近隣トラブル～円満な解決のために～	20人
11月30日	相続①～遺言の書き方～	13人
12月21日	相続②～遺産分割等～	22人
1月25日	お墓に関する法律相談～お墓にまつわるトラブル～	24人
2月22日	空き家問題～空き家の適切な管理～	18人
3月22日	成年後見制度～自分のため、家族のために知っておきたいこと	19人

#### ⑪ 弁護士による専門職向け法律相談の実施

専門職を対象に総社市権利擁護センター所属の小田弘昭弁護士が、専門職がケースの中で法律的な対応が必要な場合に助言等を行った。

・相談者数：39人      ・相談件数：39件

・相談事例

→「離婚した元妻から養育費等の請求を受けたが、収入が少なく約束した金額を払えない」との相談に対して、市役所としてどのように助言すればよいか。

→相続人が相続放棄した（と噂される）空き家について、倒壊の恐れがあり危険なため市で対応してほしいと隣人から要望があったが、相続人がいなければ行政代執行などの措置ができず、どうしたらよいか。

#### ⑫ 成年後見制度における市長申立事務補助の実施

総社市が行う成年後見制度の市長申立てにおいて、担当部署と連携し、申立て書などを権利擁護センターが作成した。

実績：5件（申立て準備中含む）

#### ⑬ ミニなんでも相談会の開催

市民が、安心して地域で生活できるように、法律や福祉などについての質問や相談をし、権利擁護センター運営委員である、弁護士、司法書士、社会福祉士などの専門職が対応した。また、この相談会を通じて支援につながるきっかけ作りとした。

・第1回（8月24日）相談者：6人

・第2回（3月22日）相談者：5人

#### ⑭ そうじゃ権利擁護ねっこの開催

専門職同士（医療・福祉・司法）のネットワーク構築のため、権利擁護に関する勉強会や意見後見を行った。

・第1回（9月1日）参加者：19人

・第2回（11月2日）参加者：17人

・第3回（2月23日）参加者：17人

参加職種：弁護士、司法書士、医師、行政書士、社会福祉士、看護師、  
介護支援専門員、相談支援専門員、市民後見人

⑮ 地域権利擁護ネットワークフォーラムの開催

内 容：基調講演「成年後見制度利用促進基本計画について」

講師：内閣府 成年後見制度利用促進担当室 高橋 愛 氏

シンポジウム「権利擁護センターの実践から考える中核機関の役割」

コーディネーター：総社市権利擁護センター

運営委員会 委員長 西田 和弘 氏

コメンテーター：内閣府 成年後見制度利用促進担当室

高橋 愛 氏

岡山家庭裁判所 裁判官 久保田千春 氏

岡山家庭裁判所 首席書記官 奥田 裕 氏

シンポジスト：県内各権利擁護（推進）センター職員

参加者：142名

(2) 生活困窮支援センターの設置運営

① 協議会及び常任委員会の開催

生活困窮支援センターの運営に関し必要な事項を審議した。

・第1回協議会（6月6日）

会長の選任及び副会長の指名

平成29年度事業計画について

ワーキンググループのリーダー選任について

研修会 内容：「生活困窮者の支援とこれから～就労支援、地域づくり～」

講師：厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室

自立支援企画調整官 鎗木 奈津子 氏

・第2回協議会（3月14日）

平成29年度事業報告について

困難事例の報告

平成30年度スケジュール（案）について

② ワーキンググループ（WG）の開催

生活困窮支援センター事業について調査研究又は審議するため、協議会内にワーキンググループを設置し協議した。

・生活支援物資に関するWG

開催回数：3回（7月25日・11月27日・2月23日）

内容：食糧支援における関係機関との連携状況について

フードドライブの実施について

社会福祉法人との連携について

食料貯蓄場所の確保について

- ・子どもの貧困等に関するWG

開催回数：3回（8月3日・11月21日・3月6日）

内容：ワンステップの実施について（小学生版・中高生版）

ワンステップ対象者拡大について

ワンステップ学生ボランティアについて

平成30年度ワンステップの実施内容について

- ・就労支援に関する調査・研修WG

開催回数：2回（12月19日・3月9日）

内容：就労困難者及び就労定着困難者の要因について

平成30年度の検討事項について

### ③ 支援調整会議の開催

相談者の目指す姿（目標）や、目標の実現に向けて相談者が取り組むこと、支援内容等について、支援計画としてまとめたものが、課題解決に向けた内容となっているか、サービス提供者は適切か、などについて関係者間で協議し、また、サービス提供者が認識を共有するための場として開催した。

- ・開催回数：11回

- ・プラン作成件数：35件

- ・終了件数：16件

### ④ 自立相談支援事業の実施

相談者が抱える問題について応じ、必要な情報提供や助言を行ったり、支援プランを作成して生活困窮者の自立の促進を行った。

- ・相談者数：93人

- ・延相談件数：2,046件

- ・一人あたりの支援回数：22回

### ⑤ 家計相談支援事業の実施

相談者が自らの家計の状況に気づき、それを理解した上で、そこから見える課題を把握して家計の再生に向けた具体的な方針を立てて、相談者が自ら家計管理できるよう支援を行った。（自立相談支援事業の相談者と重複）

また、将来設計や節約のポイントについて、専門的なアドバイスを受けるため、ファイナンシャル・プランナーによる家計相談会を行った。

- ・プラン作成件数：21件

- ・ファイナンシャルプランナーによる家計相談会

実施回数：年間6回      相談者数：延7人

### ⑥ 学習等支援事業「ワンステップ」の実施

生活困窮世帯の子どもを対象に学習支援や進路などの相談できる場を提供した。また、学習を教える大学生や教員OB・OG等との交流により子どもたちの将来を育てる場な

子どもたちの居場所としても機能した。

- ・中高生版

参加中学生数：19人（1年生：2人 2年生：4人 3年生：13人）

参加高校生数：1人（2年生：1人）

参加大学生：38人（岡山大学生：5人 県立大学生：31人 吉備国際大学：2人）

地域の協力：4人（教員・塾講師のOB・OG）

実施回数：90回（火曜日と金曜日に実施）

社会参加活動：岡山大学及び岡山県立大学のオープンキャンパスへの参加  
国際文化プログラムの実施（岡山県立大学COC+との連携）

職業人の話を聞く会（自動車会社研究員）

クリスマス会（企業との連携）

- ・小学生版（NPO法人保育サポート「あい・あい」に委託して実施。）

参加小学生数：5人（4年生：3人 5年生：1人 6年生：1人）

サポーター：10人

実施回数：22回

#### ⑦ 食糧支援の実施

食糧ロスの削減、食育の機会を図るとともに、地域住民の方からの寄付、フードバンク、順正学園、コープなど関係機関と連携、協働し、生活困窮世帯等へ生活の改善、自立につながる食糧支援を実施した。

また、総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会及びコープと協働し、2回のフードドライブを実施しました。自宅や会社等で余っている食糧を持ち寄っていただき、支援に活用すると共に、活動を通じて生活困窮者支援活動の周知を図ることができた。

#### ⑧ 一時生活場所の確保の実施

派遣契約の解除による社宅の退去や、賃貸住宅契約の退去事項に抵触し、退去になった方等へ、次の居住先の確定までの間、福祉施設の協力を得て、一時生活場所の提供を行った。

実施場所：吉備路学園 生活訓練棟

受け入れ期間：1週間

受け入れ件数：1件

## 8. 在宅福祉サービス事業

### (1) 介護保険事業（居宅介護支援事業、訪問介護事業）の実施

- ① 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）
  - ・利用者数 延2,259人（月平均188人）
  - ・介護支援専門員 6人
  - ・要介護認定調査 延42人（月平均4人）
- ② 訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）
  - ・利用者数 延1,643人（月平均140人）
  - ・ホームヘルパー（常勤6人・登録34人）
  - ・援助内容 身体介護、生活援助

### (2) 障がい福祉サービス事業（相談支援、支援区分認定調査、居宅介護【ホームヘルパー】）の実施

- ① 指定特定相談支援事業の実施
  - ・利用者数 延734人（月平均61人）
  - ・相談支援専門員5人
- ② 指定障がい児相談支援事業の実施
  - ・利用者数 延734人（月平均61人）
- ③ 障害支援区分認定調査の実施
  - ・利用者数 延96人（月平均8人）
- ④ 居宅介護事業の実施
  - ・利用者数 延670人（月平均56人）
  - ・援助内容 身体介護、家事援助、同行援護、相談、助言等
- ⑤障がい者（児）移動支援事業の実施
  - ・利用者数 4人

### (3) 車イス貸出し事業の実施

- ・車いすの貸出し（介護保険外）87件

## 9. 福祉センター等管理運営事業

### (1) 総社市総合福祉センターの管理運営

地域福祉活動の拠点として、福祉団体等への部屋の貸出をするとともに、福祉相談の実施、福祉サービスの提供及び啓発に努めた。

	H29	H28	H27	H26	H25
利用回数	1,303回	1,229回	1,383回	1,234回	1,007回
利用者数	43,623人	42,094人	43,821人	33,816人	32,546人

### (2) やすらぎの家、さんあいの家、ひだまりの家、山手ふれあいセンターの指定管理

#### ・やすらぎの家

	H29	H28	H27	H26	H25
利用回数	239回	233回	235回	250回	270回
利用者数	4,701人	4,590人	4,913人	4,550人	3,785人

#### ・さんあいの家

	H29	H28	H27	H26	H25
利用回数	466回	415回	415回	326回	305回
利用者数	7,276人	5,767人	5,933人	5,668人	4,341人

#### ・ひだまりの家

	H29	H28	H27	H26	H25
利用回数	323回	295回	193回	212回	223回
利用者数	6,825人	6,830人	6,866人	6,968人	7,104人

#### ・山手ふれあいセンター

	H29	H28	H27	H26	H25
利用回数	466回	503回	396回	474回	438回
利用者数	7,276人	6,993人	4,810人	5,485人	5,445人

## 10. 共同募金・歳末たすけあい運動の実施

### (1) 共同募金・歳末たすけあい募金の実施

① 共同募金実績額 10,046,032円

(H28年 9,790,243円 +255,789円)

地区	戸別募金	街頭募金	法人募金	学校募金	協力店募金
総社	2,079,946円		238,300円	224,319円	3,382円
常盤	1,120,850円		107,800円	53,990円	9,361円
池田	207,650円		32,000円	9,362円	
清音	820,700円		74,000円	18,205円	2,284円
三須	363,500円		20,000円	2,714円	2,784円
服部	326,500円		87,000円	43,872円	
阿曾	417,300円		21,000円	5,677円	4,417円
山手	707,400円		65,000円	36,267円	10,629円
秦	334,950円		16,000円	38,655円	332円
神在	251,562円		40,000円	8,923円	
久代	433,350円			19,641円	423円
山田	125,600円			1,587円	
新本	223,750円		20,000円	7,401円	753円
昭和	590,400円			13,024円	
事務局		66,274円			34,223円
計	8,003,458円	66,274円	721,100円	483,637円	68,588円

地区	イベント募金	個人・バッチ	合計
総社		48,200円	2,594,147円
常盤		7,600円	1,299,601円
池田		3,300円	252,312円
清音		50,800円	965,989円
三須			388,998円
服部			457,372円
阿曾		4,000円	452,394円
山手		29,200円	848,496円
秦			389,937円
神在		2,800円	303,285円
久代		3,200円	456,614円
山田		4,000円	131,187円
新本			251,904円
昭和		10,000円	613,424円
事務局	4,675円	535,200円	640,372円
計	4,675円	698,300円	10,046,032円

② 歳末たすけあい募金

・募金実績額 308,239円

## (2) 共同募金事業の実施

### ① 共同募金ポスターコンクールの開催

市内の小学校4年生から中学校3年生までを対象に「みんなで支えあう 明るく住みよい 心豊かな福祉のまちづくり」をイメージするようなポスター作品を募集しました。19作品の応募があり、審査の結果、最優秀賞が1点、優秀賞が7点選ばれました。運動がスタートした10月2日には、リブ総社店にて授賞式を行い、受賞者には賞状と記念品を贈呈しました。

## (3) 歳末たすけあい事業の実施（寝たきり者への友愛訪問事業）

- ・在宅で寝たきりの方（69人）にバスタオルを持参して友愛訪問活動を実施

## 11. 赤十字事業

### (1) 日赤活動資金増強運動の推進

- ・会員増強運動月間（5月）

（平成29年度会費納入状況）

地区名	会員数	実績額
総社	3,043 件	2,481,300 円
常盤	1,458 件	1,329,000 円
三須	481 件	608,500 円
服部	529 件	520,500 円
阿曾	463 件	430,500 円
池田	362 件	309,500 円
秦	443 件	384,500 円
神在	415 件	347,000 円
久代	745 件	577,900 円
山田	204 件	188,100 円
新本	399 件	339,500 円
昭和	852 件	762,000 円
山手	564 件	592,000 円
清音	992 件	972,500 円
計	10,950 件	9,842,800 円

※ 県支部指示目標額7,951,000円に対して、

実績額9,842,800円（123.79%）

H28実績額 10,005,950円（▲163,150円）

## (2) 災害救援事業の実施

### ○災害被災者の救護

- ・見舞金（総社市地区独自）2件
- ・救援物資2件

○災害時のためのハイゼックス等による炊き出し訓練（イベント内含む）

- ・昭和地区防災訓練（9月17日）
- ・新本地区健康まつり（11月18日）
- ・総社市防災訓練（11月18日）
- ・池田地区防災訓練（11月21日）
- ・服部地区防災訓練（1月28日）
- ・常盤地区防災訓練（3月26日）

### （3）赤十字奉仕団活動の推進及び助成

- ・福祉施設への訪問（イベントでの車いす介助）
- ・地域のイベントに参加し日赤活動のPR
- ・地域活動において救護班として参加
- ・地域の災害時の炊き出し訓練に奉仕団員が指導

### （4）赤十字事業普及のための広報活動

○救急法・家庭看護法等の講習会の開催

・リラクゼーション講習	3回	120人
・日赤県支部施設見学	2回	70人
・日赤病院施設等見学	1回	40人
・日赤血液センター見学	1回	30人
・キズの手当講習	1回	20人
・避難所運営ゲーム（HUG）	1回	30人
・災害エスノグラフィ	2回	60人

## 12. 災害救援活動、災害救援募金の実施

日本赤十字社及び共同募金会から依頼のあった災害義援金について、指定募金として対応した。

## 13. 社会福祉・介護福祉現場実習生の指導

○社会福祉援助技術現場実習の受け入れ

- ・岡山県立大学 3人

○見学実習

- ・川崎医療福祉大学 10人（9月21日）

○社会福祉士養成校での講義等

- ・岡山県立大学（ソーシャルワーク実習指導Ⅰ）（11月1日）

#### 14. 視察研修等の受入

No	視察研修等受け入れ先	日程
1	美作市民生委員児童委員協議会	6月27日
2	島根県健康福祉部地域福祉課	6月27日
3	笠岡市・笠岡市社会福祉協議会	7月7日
4	防府市華城地区社会福祉協議会	7月12日
5	瀬戸内市裳掛地区社協福祉委員	7月14日
6	広島県大竹市社会福祉協議会	8月30日
7	高知県南国市社会福祉協議会	9月13日
8	玉野市東児地区民生委員児童委員会	9月19日
9	静岡県三島市議会	10月10日
10	愛媛県今治市・今治市社会福祉協議会	10月18日
11	愛知県豊明市	10月19日
12	愛媛県西条市小松支部・石根支部社協	11月17日
13	新見市神郷支局民生委員・児童委員協議会	11月24日
14	川崎医療福祉大学（直島ゼミ）	11月28日
15	愛知教育大（KHJ）川北先生ほか	12月8日
16	高島市・高島市社会福祉協議会	12月11日
17	高松圏域自立支援協議会	2月8日
18	吉備中央町	2月13日
19	美作市勝田地区民生委員児童委員協議会	2月20日
20	東洋大学	3月13日

#### 15. その他福祉諸問題に関する対策の企画と実施

（外部委員等への就任状況）

No	関連委員等	担当
1	総社市総合計画審議会 委員	風早会長
2	総社市地域公共交通会議 委員	風早会長
3	総社市全国屈指福祉会議 委員	風早会長
4	総社市表彰審査会 委員	風早会長
5	総社市市民憲章を唱和・実践する会 副会長	風早会長
6	総社市民生委員児童委員推薦委員会 会長	風早会長
7	総社市文化振興財団 評議員	風早会長
8	岡山県社会福祉協議会 評議員	風早会長
9	岡山県共同募金会 理事	風早会長
10	「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会 副会長	佐野事務局長
12	岡山県社会福祉経営支援委員会 委員	佐野事務局長
13	岡山県地域公益活動推進研究会 委員	佐野事務局長
14	全国社会福祉協議会 地域福祉推進委員会 常任委員 市区町村社協介護サービス経営研究会幹事会 福祉サービスの質の向上推進委員会	佐野事務局長